

# 令和4年度 社会科1年 年間指導計画

			知識・技能	社会的な思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
〔地理〕第1部 世界のさまざまな地域					
4月	1章 2章	世界の姿 日本の姿	緯度と経度、大陸と海洋の分布、主な国々の名称と位置などを基に、世界の地域構成を大観し理解している。	世界の地域構成の特色を、大陸と海洋の分布や主な国の位置、緯度や経度などに着目して多面的・多角的に考察し、表現している。	世界の地域構成について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。
〔地理〕第2部 世界の諸地域					
5月 6月 7月 9月 10月	1章 2章	人々の生活と環境 世界の諸地域 ・アジア州 ・ヨーロッパ州 ・アフリカ州 ・北アメリカ州 ・南アメリカ州 ・オセアニア州	人々の生活は、その生活が営まれる場所の自然及び社会的条件から影響を受けたり、その場所の自然及び社会的条件に影響を与えること、世界各地における人々の生活やその変容を基に、世界の人々の生活や環境の多様性、世界各地で顕在化している地球的課題は、それが見られる地域の地域的特色の影響を受けて、現れ方が異なることを理解している。  アジア州・ヨーロッパ州・アフリカ州・北アメリカ州・南アメリカ州・オセアニア州の各州に暮らす人々の生活を基に、各州の地域的特色を大観し理解している。	世界各地における人々の生活の特色やその変容の理由を、その生活が営まれる場所の自然及び社会的条件などに着目する。  アジア州・ヨーロッパ州・アフリカ州・北アメリカ州・南アメリカ州・オセアニア州の各州において、地域で見られる地球的課題の要因や影響を、州という地域の広がりや地域内の結び付きなどに着目して、それらの地域的特色と関連付けて多面的・多角的に考察し、表現している。	世界各地の人々の生活と環境について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。 世界の諸地域について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。
〔地理〕第3部 日本の様々な地域					
11月	1章	身近な地域の調査	観察や野外調査、文献調査を行う際の視点や方法、地理的なまとめ方の基礎を理解している。 地形図や主題図の読図、目的や用途に適した地図の作成などの地理的技能を身に付けている。	地域調査において、対象となる場所の特徴などに着目して、適切な主題や調査、まとめとなるように、調査の手法やその結果を多面的・多角的に考察し、表現している。	地域調査の手法について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。
〔歴史〕第2部 歴史の流れと時代の移り変わり					
11月 12月 1月	1章	古代国家の成立と東アジア 1節人類の登場と文明の発生へ 2節東アジアの中の倭(日本) 3節中国にならった国家づくり 4節展開する天皇・貴族の生活	世界の古代文明や宗教のおこりを基に、世界の各地で文明が築かれたことを理解している。 日本列島における農耕の広まりと生活の変化や当時の人々の信仰、大和朝廷(大和政権)による統一の様子と東アジアとの関わりなどを基に、東アジアの文明の影響を受けながら我が国で国家が形成されていったことを理解している。 律令国家の確立に至るまでの過程、摂関政治などを基に、東アジアの文物や制度を積極的に取り入れながら国家の仕組みが整えられ、その後、天皇や貴族による政治が展開したことを理解している。 仏教の伝来とその影響、仮名文字の成立などを基に、国際的な要素をもった文化が栄え、それらを基礎としながら文化の国風化が進んだことを理解している。	古代文明や宗教が起こった場所や環境、農耕の広まりや生産技術の発展東アジアとの接触や交流と政治や文化の変化などに着目して、事象を相互に関連付けるなどして、古代の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現している。 古代までの日本を大観して、時代の特色を多面的・多角的に考察し、表現させる。 古代までの日本を大観して、時代の特色を多面的・多角的に考察し、表現している。	古代までの日本について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究している。
1月 2月	2章	武家政権の成長と東アジア 1節武士の世の始まり 2節武家政権の内と外 3節人々の結びつきが強まる社会	鎌倉幕府の成立、元寇(モンゴル帝国の襲来)などを基に、武士が台頭して主従の結び付きや武力を背景とした武家政権が成立し、その支配が広まったこと、元寇がユーラシアの変化の中で起こったことを理解している。 南北朝の争乱と室町幕府、日明貿易琉球の国際的な役割などを基に、武家政治の展開とともに、東アジア世界との密接な関わりが見られたことを理解している。 農業など諸産業の発達、畿内を中心とした都市や農村における自治的な仕組みの成立、武士や民衆などの多様な文化の形成、応仁の乱後の社会的な変動などを基に、民衆の成長を背景とした社会や文化が生まれたことを理解している。	武士の政治への進出と展開、東アジアにおける交流、農業や商工業の発達などに着目して、事象を相互に関連付けるなどして、中世の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、現している。 中世の日本を大観して、時代の特色を多面的・多角的に考察し、表現している。	中世の日本について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究している。
2月 3月	3章	武家政権の展開と世界の動き 1節大航海によって結びつく世界 2節戦乱から全国統一へ 3節武士による全国支配の完成	ヨーロッパ人來航の背景とその影響、織田・豊臣による統一事業とその当時の対外関係、武将や豪商などの生活文化の展開などを基に、近世社会の基礎がつくられたことを理解している。 江戸幕府の成立と大名統制、身分制と農村の様子、鎖国などの幕府の対外政策と対外関係などを基に、幕府と藩による支配が確立したことを理解している。 産業や交通の発達、教育の普及と文化の広がりなどを基に、町人文化が都市を中心に形成されたことや、各地方の生活文化が生まれたことを理解している。 社会の変動や欧米諸国の接近、幕府の政治改革、新しい学問・思想の動きなどを基に、幕府の政治が次第に行き詰まりをみせたことを理解している。	交易の広がりとその影響、統一政権の諸政策の目的、産業の発達と文化の担い手の変化、社会の変化と幕府の政策の変化などに着目して、事象相互に関連付けるなどして、近世の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現している。 近世の日本を大観して、時代の特色を多面的・多角的に考察し、表現している。	近世の日本について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究している。

## 評価方法

知識・技能	社会的な思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
定期考査, 小テスト, レポート	定期考査, 小テスト, レポート, 行動観察	ノート, レポート, 行動観察